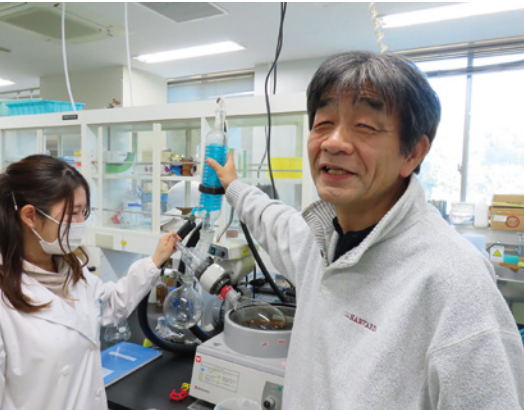




グリーン科学技術研究所・農学部の研究室で
河岸特別栄誉教授

キノコ研究の 第一人者 河岸洋和教授が 紫綬褒章を受章

抗認知症効果をもつヤマブシタケ由来の薬理活性物質の発見、スギヒラタケによる急性脳症の解明に加え、長年謎とされていた「フェアリーリング」現象を科学的に解明し、植物成長調節物質としてフェアリー化合物(FCs)を発見するなど、優れた業績を挙げ、キノコや植物を対象とした天然物化学的研究の発展に大きな貢献をしました。
*令和3年秋の褒章で受賞しました。

全国大会で大躍進！ 静大の部活動・サークル

全国大会で優勝！ よさこいサークル 「お茶ノ子祭々」



コンテストの舞台上で(2021年10月開催)

よさこいコンテスト「KOBE ALIVE 2021」が神戸で開催され、全国から22チームが出場する中、「KOBE ALIVE大賞」(＝優勝)と「ヴィーナスブリッジ賞」のダブル受賞を果たしました。当日の演舞「繫桜(かけら)」は、出場した同サークル13代目のオリジナル作品で、「コロナ禍で、演舞を披露できることの幸せ、人とのつながりの大切さを学んだ。この作品を通して多くの人とつながりたい」という熱い想いが込められています。

フライングディスク部 「GLANZ」 全日本大学選手権で 男子が3位に！

第32回全日本大学アルティメット選手権大会で、男子(オープン部門)が過去最高の3位に！入学後に始めた部員がほとんどで、日々の練習が実りました。



オープン部門には74チームが参加
(2021年12月開催)

弓道部女子、 18年ぶりに出場した 学生王座決定戦で 4位に！

伊勢神宮の弓道場で行われた第45回全日本学生弓道女子王座決定戦に、東海地区リーグを勝ち抜き、18年ぶり5度目の出場を果たし、見事4位になりました。



大会(2021年11月開催)後も東海リーグ1部で活躍中です

//////////////////////////////////// アンケートにご協力ください //////////////////////////////////////

静岡大学広報誌「SUCCESS」vol.27の誌面に関するWEBアンケートにご協力ください。
抽選で5名様に前号でご紹介した下記のジャムセットをプレゼントします！
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。



左記QRコードによりアクセスいただき、
WEBにてご回答ください。
応募締切：2022年5月31日(火)



四季のジャム工房「やまゆスイーツ」と静岡大学農学部附属農場が共同開発した「ダルメイン世界マーメイドアワード」金賞受賞の金柑 マーメイドとブルーベリージャムのギフトセットをプレゼント！

広報学生委員会 メンバー募集！ 広報誌「SUCCESS」の作成や広報勉強会など、広報室と一緒に静岡大学をPRしています。イラスト作成や動画撮影・編集など、得意な分野を活かしてみませんか？新メンバー募集中です！興味がある人はDMください。Email：koho_all@adb.shizuoka.ac.jp

編集後記

今号の特集は学長と卒業生の対談です。お話を聴いてとても前向きな気持ちになりました。また、昨年初めて開催した「静岡大学学生フォトコンテスト2021」の受賞作品もご紹介しています。学生ならではの目線で撮影した静大の魅力が伝われば嬉しいです。



SUCCESS

静岡大学広報誌 サクセス

Shizuoka
University
Current affairs &
Connective paper for
Every graduate
Student &
Staff

特集 学長対談

村田慎二郎氏 × 日詰一幸

国境なき医師団日本事務局長

静岡大学長

／静岡大学 学生フォトコンテスト2021作品紹介



Spring 2022



特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

事務局長 村田 慎二郎氏

「どんな人間になりたい？」

就活がうまくいなくて…立ち止まり、自らに問い続けた

日誌 国境なき医師団でご活躍の村田さんが静大の卒業生と聞き、大変うれしく、誇りに思います。学生時代から国際協力の仕事を志していたのですか。

村田 いえいえ。将来仕事で役立ちそうだから、という漠然とした理由で経済学を専攻しましたが、友人とイベントサークルを立ち上げ、静大祭に出店するなど、学生生活を謳歌していました。そのうち就職活動が始まり、みんなの内定が決まっていく中で、自分だけうまくいかない、どうしよう…と。特に入りたい会社もなく、安定している大企業に入れたらいいな、という程度でしたので受かるわけがないのですが…。

日誌 ちょうどバブル崩壊後の就職氷河期の頃ですね。

村田 はい。そんな時に静岡キャンパスの生協で「絶対内定」という本に出会いました。就活をどう乗り切るか、ではなく、一度しかない人生をどう生きるか、夢は何だ？と真正面から問われて、いったん立ち止まってみたのです。納得いかないまま就活を続けるよりも、自分の人生についてじっくり考えたいと思い、1年留年して就職活動を続けました。

静岡大学人文学部(現・人文社会科学部)経済学科の卒業生・村田 慎二郎氏が日本人で初めて、国境なき医師団日本の事務局長に就任し、活躍中です。日誌一幸学長との対談は、学生の皆さんはもちろん、社会人となった皆様に向けても大切なメッセージが込められています。

対談は、2021年11月5日に実施しました。



キャリアデザインの 授業、素晴らしい ですね！

日誌 自分の人生について真剣に向き合ったのですね。

村田 おそらく就職活動が上手くいったら、自分の人生について深く考えていなかったと思います。

日誌 私も研究者になるきっかけは「自分たちで生命を守った村」という本でした。自分の生涯・命を賭けて村人を守るという、岩手県沢内村の深沢晟雄村長のお話です。このような村長さんが必要だと思い、地方自治を勉強し、研究者の道を選ぶことになりました。

日誌 静大では、「キャリアデザイン」という授業が2018年度から全学共通科目として必修になりました。自分の人生や生き方をどのように見つけていくか、職業意識や人生設計について1年生から意識付けをして、その方向に進むために4年間の学生生活をどのように過ごしていくのか、将来を見据えながら考えていきます。

村田 素晴らしいです。僕たちの頃にはなかったので。



多様な社会の担い手となる将来を見据え、近年、ディスカッションなどの参加型授業が増えている

夢を描いて、 言葉にしよう

日誌 今の仕事はこの授業があったとしても思いついてなかったのでは？ どういう出会いだったのですか？

村田 本をきっかけに自分に問いかけ、描いた将来の夢は「政治家になること」でした。じゃあ、どんな政治家になりたいんだ？と再び問い、出した答えは「自分が投票したくなる政治家」でした。40代くらいで理想像になることを目標に、外資系コンピュータ会社に入社し、ビジネスのしくみや営業という仕事の基礎

を学びました。3年目に「世界の現実を自分の目で見てみたい」「世界で最も弱い立場に居る人たちのために貢献できる仕事をしたい」との思いが強くなり、会社を辞めて国境なき医師団に応募をしました。

日誌 いきなり、ですか。語学など大丈夫でしたか？

村田 派遣先の決定まで1年半かかりました。英語を勉強しながら六本木のドン・キホーテで商品陳列をしたり、引越し屋さんのバイトをしながらを待ちました。2005年、ようやくアフリカ・スーダンの首都ダルフールへの派遣を

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長

村田 慎二郎

1977年、三重県出身。静岡大学人文学部(現・人文社会科学部)経済学科卒。2005年より国境なき医師団職員として、スーダンやシリアなどで人道援助活動を行う。2020年より日本人初の事務局長として活躍。



のどかで気候が良くて、学生には申し分ない環境だったと静大での学生生活を振り返る村田氏

打診され、「いきなり1年間紛争状態の地域か」と思いましたが、そこから始まりました。

日誌 1年半待っても「絶対ここで働きたい」と思い続けることは、並大抵の人ではできないと思います。

村田 貯金が底をついて、実家に帰る準備をしていたくらいでしたが、自分には夢があると思っていました。

日誌 夢を描いて自分の言葉にすることは大事ですね。ところで、政治家になりたいという夢はどこに？

村田 初めての派遣で「こういう仕事が世の中にあったのか!」と衝撃を受けました。国境なき医師団の名のもとに各分野のプロフェッショナルが世界中から集まり、英語を共通言語にチームを作ります。政治家にならなくても社会に貢献できる、むしろ政治の失敗によって弱い立場にいる人たちが苦しむこともあり、それを少しでも和らげたい、との思いで、政治と距離を置き、政治がカバーし切れない部分を担っています。今の夢は日本社会に人道支援を根付かせること。もっともっと活動の意義を伝えて支持を増やしたいです。

個人の成功より 大事なものがある 自分の命を大きく 使いたい

日誌 今の日本はどう思いますか。

村田 日本に帰ってくるたびに本当に平和だなと思います。夢を描こうと思えば描ける環境ですし、挑戦しようと思えばできる環境にいるので、挑戦しない

と本当にもったいないです。私自身は、個人としての成功よりも、大事なもののために自分の命を大きく使いたいと思っています。

日誌 自分の命を大きく使う、すごい言葉ですね。そんなふうに自分の人生を考え活躍されている姿を見て、静岡大学で学生時代を過ごしたことが一つのきっかけとなって今日の村田さんを築いた礎になっているのは嬉しいですね。本日は、ありがとうございました。



スーダン ダルフールにて。シリア、南スーダン、イエメン、フィリピンでは活動責任者として人道援助を行う

静岡大学長

日誌 一幸

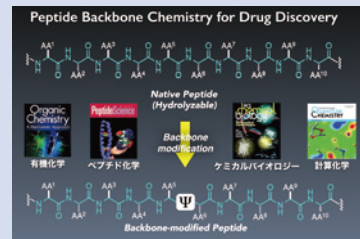
1955年、長野県出身。1991年に名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学後、名古屋音楽大学専任講師として従事。1996年から静岡大学人文学部助教授、2000年に人文学部教授、2017年に人文社会科学部長を務め、2021年4月から学長に就任。



研究最前線 静岡大学の若手研究者たち

芸術文化の継承と発展、
人類の「知」に貢献する

私たちの研究室の目標は、分子のチカラを最大限に引き出して、人類の健康と福祉に貢献することです。有機合成化学、ペプチド化学、ケミカルバイオロジー、計算化学を取り入れた創薬研究を通じて、さまざまな疾患に関わる生命現象を理解・制御するイケる分子の開発を目指します。



主鎖改変したペプチドができるまで

ペプチドは、複数のアミノ酸からなる化合物で、微量で強力な生理活性を有するものが多く、標的とするタンパク質に特異的に作用するため、低分子医薬や抗体医薬の短所を克服する治療手段となっている。一方で、酵素によって容易に加水分解されるため、なかなか医薬品にはなりにくい。

私たちはこの課題を、ペプチドが有機化合物である限り、新しい分子を設計・合成する有機合成化学で解決できると考え、ペプチド化学と有機合成化学を融合した創薬研究を推進している。特に、「切れるペプチド結合」を「切れないパイオリソスター(生物学的等価体)」に置き換える技術「主鎖改変」は、ペプチドの課題を解決する分子技術として期待されており、これを基盤とする創薬研究に、精力的に取り組んでいる。

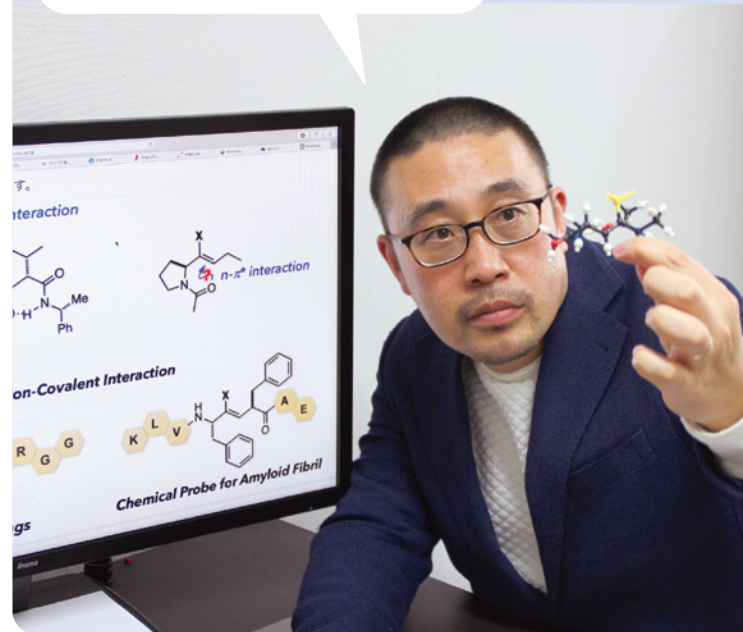
ペプチド・タンパク質の主鎖改変を基盤とする創薬研究

鳴海 哲夫
NARUMI Tetsuo

工学部 化学バイオ工学科 准教授



研究室ウェブサイト



「フェアリーリング現象」をご存じだろうか。芝が大きな曲線を描き、周囲より色濃く繁茂し、時には成長が抑制され、後にキノコが発生する現象で、「妖精が輪を作ってその中で踊る」ともいわれる。1675年に初めて論文報告されて以来、330年間謎のままであったが、我々がついに妖精の正体を明らかにした。

その正体は、芝の成長を促進する物質と抑制する物質でできた「フェアリー化合物」であった。植物にも内生し、農作物の増収をもたらすこともあり、応用次第では、世界の食料問題の解決に貢献できる可能性もある。

今後の課題は、フェアリー化合物の植物成長調節機能を新しい植物ホルモンであると証明すること。生合成代謝経路と情報伝達経路の全容解明を目指していく。

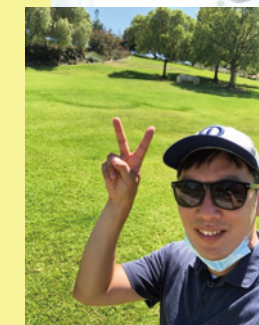
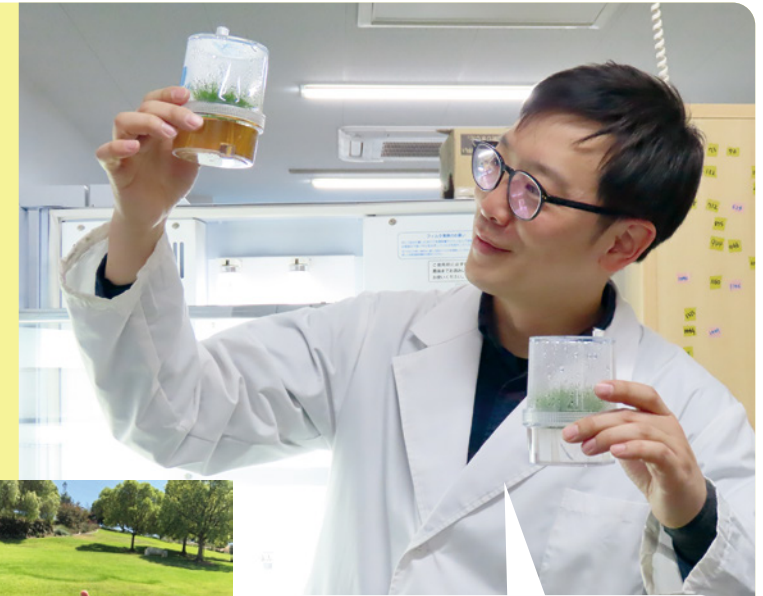
菌類と植物とのクロストークに関する化学的研究

崔 宰熏
CHOI Jae-Hoon

農学部 応用生命科学科 准教授



研究室ウェブサイト



アメリカで発見したフェアリーリング

新規リード化合物の探索をすることで、フェアリーリングの研究のように大きな研究につながりました。多くの生物の全ゲノム情報が判明しているが、生命現象を直接制御しているのは小分子であり、このことが天然物化学研究の重要性を示しています。私は、生物間の共存・共生下の現象に興味があり、その解明に挑戦しています。

私の研究室では、三現主義(現場・現物・現実)を重視し、実際に学校現場に伺って研究を進めています。様々な企業との共同研究により、情報モラルを学ぶ教材を開発し、学校に無償で提供しています。作り上げた教材を活用し、子どもたちが楽しみながら学ぶ様子を目にすることが、研究の一番のおもしろさです。

「嫌なこと」などを書いたカードを使い、自分と相手の認識のズレを実感する教材を開発



現代的・社会的課題を子どもたちにどう教えるか

塩田 真吾
SHIOTA Shingo

教育学部 教育実践学専修 准教授



研究室ウェブサイト

現在の学校教育では、教科だけでなく、情報教育や環境教育、キャリア教育など現代的・社会的課題を教えている。進行形の問題が多く、明確な答えが定まっていないため、「どのように教えればよいのか」が課題となっている。特に近年重要となっているのが、情報モラルである。しかし、トラブル事例を紹介し、注意喚起したところで、なかなか自分の身にも起こりうることは思いにくく、教えるのはとても難しい。私の研究室では、現代的・社会的課題について、どうすれば自分のこととして考えられるかという「自覚」をテーマに研究している。自分と相手が認識するズレなどを実感させ、「自分もトラブルにあってしまうかも」という自覚を促す教材を開発している。



パワーメカトロニクスおよびモータに関する研究

朝間 淳一
ASAMA Junichi

工学部 機械工学科 准教授



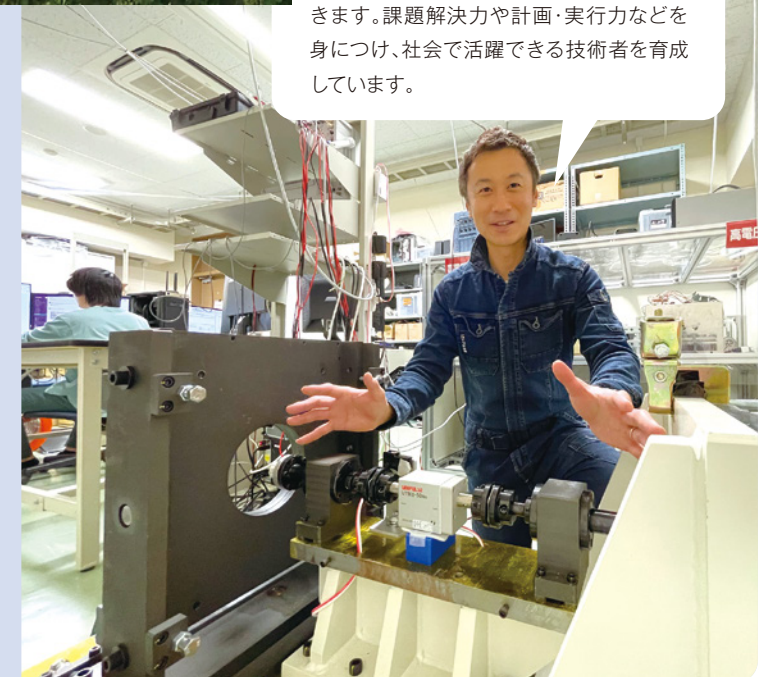
研究室ウェブサイト

近年、自動車はガソリンエンジンからモータを主としたハイブリッド化・電気駆動化が進んでいる。また、自動車以外にも、バイク、ドローン、さらには建機などモータの応用は急速に拡大している。本研究室では、電動モータの理論解析、電磁界解析、設計・試作、制御・駆動、性能評価を主とするモータ工学、電力を変換するための技術であるパワーエレクトロニクス(磁性材料の特性評価、駆動用インバータ、電力変換器など)、さらには、回転子が磁気力により非接触で支持される磁気軸受、および磁気軸受とモータが一体化したベアリングレスモータの研究に取り組んでおり、高まる社会的ニーズに応えていきたい。



大型ドローン用モータの効率化も研究している

私の研究室では、テスト機を実際に設計・製作し、提案手法を実証する実験など、一連のものづくりプロセスを経験することができます。課題解決力や計画・実行力などを身につけ、社会で活躍できる技術者を育成しています。



「教師になりたい!」に 力をくれた4年間

きのした さとみ
木下 聡美 さん

教育学部 教員養成課程国語教育専攻
(2003年3月卒)

静岡大学教育学部附属中学校 教諭

1981年生まれ、静岡県立清水東高等学校卒
趣味は音楽鑑賞と寺社仏閣巡り。好きな言葉は「いつも笑顔で」。



夢に向かって、「教育」に強い静大へ

静岡県で教師になることが私の目標だったので、地元の大学に進学することにしました。教育学部に進学し、国語教育について基礎から勉強したいと考えました。また、弟の担当の先生が静大の国語科出身で、静岡大学には良い教員がいると紹介してくれたことも決め手になりました。

小学校か中学校か… 教育実習で迷いが消えた!

元々、教師になりたいと思っていましたが、小学校か中学校か決めかねていました。教育実習で、子供たちと一人の人間として同じ目線で関わっていける面白さを感じることができたことが、中学校の教師になりたいと思った大きなきっかけとなりました。



静岡大学教育学部附属中学校にて国語を教えています

授業づくりの研究で ゼミ仲間と語り合った日々

大学では、国語の教材を研究するゼミに入り、仲間と授業を構想する視点で教材文を読み、語り合う時間がとても充実していました。最近では、当時お世話になったゼミの教授や、同じ国語科の仲間と一緒に仕事をすることがあり、地域を越えて教育について語り合うこともあります。20年の時を超えてつながる一生の仲間感謝しています。

青年団など地域でも仲間が増えて

「青年の船」への乗船をきっかけに、青年団活動にも加わり、与論島(鹿児島県)の青年団との交流や、地元(旧清水市)の子どもたちのお祭りづくりなど、大学とは違った視点から地域で仲間づくりができたことは、今、教員になって、子どもたちの多様性や思いを受け止める土台となっているように思います。

学校だからこそ、学べることは何か、 考えていきたい

学生時代の志を果たして、今、とても充実しています。今後は、学校だからこそ学べることは何か、その教科だからこそ味わえる面白さは何か、教科の壁を越えて多くの先生方とつながり、授業づくりや教育について語る時間を作っていきたいです。子どもたちの生き生きとした学校生活にもつながっていくと信じて、自分から一歩を踏み出していきたいです。

学校現場で共に働く仲間を待っています!

教師としての悩みを共有し、共に成長していける仲間の存在は心強いものです。静岡で教師をしていると、静大の先生方との交流機会もあり、ありがたいことだと感じています。教育学部といっても、教師以外の道に進んだ人も多く、卒業後、異分野で活躍する仲間と多様な価値観で話ができます。今後は静大は、自分がやりたいことに思う存分打ち込める場であってほしいと思います。そして、子どもたちと共に成長していける教育に魅力を感じて、一緒に働く仲間が増えていくことを願っています。



子どもたちの努力している姿や達成感にあふれる瞬間を共有できることは幸せです

挑戦することで、 未来を切り開いていく

ながおか とおる
長岡 徹 さん

理学部 創造理学コース(2020年3月卒)
株式会社SCC 勤務(エンジニア)

1997年生まれ、茨城県立竜ヶ崎第一高等学校
趣味は大相撲観戦と筋トレ。
好きな言葉は「筋肉は裏切らない」



専攻を見極めるため創造理学コースへ

2016年から創設された理学部 創造理学コースは、1年次に理学系の科目を全て学ぶことができ、英語授業や香港への実習に参加することでグローバルな視点も身につけることができるため、進路選択時に専攻は未定でしたが理学系に進みたいと考えていた私にピッタリだと思い、選択しました。

静大で出会った一生の仲間

一生の仲間と出会えたことが、大学生活の中で大きな糧となりました。今でも相談をしたり、遊んだりする大切な人たちで、良い関係が続いています。在学中はドイツにビールを飲みに行ったり、北海道を車で一周したりと社会人になってからではできない経験をしました。



北海道ではスカイダイビングにも挑戦!

学内イベントをきっかけに、 エンジニアの道へ

在学中は物理学を学んでいましたが、プログラミングに興味を持つようになりました。浜松キャンパスで開催された、アイデアソン&ハッカソン(ビジネスアイデアを創造し、先端技術を活用したサービスなどの開発に挑戦する)のイベントに参加したことがきっかけとなり、また、IT業界は比較的未経験の人にも優しい業界ということも相まって、エンジニアとして働こうと決めました。

仕事のやりがいとこれからの挑戦

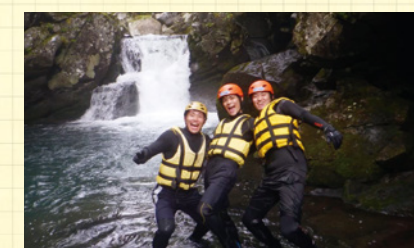
現在はエンジニアとして開発業務を行っています。プログラミングは未経験でしたので、日々の業務や自己学習で、自分のスキルがどんどん身に付いている感覚があります。自ら作成したプログラムが正しく、お客様の要望通りに挙動をした時にやりがいを感じます。今後は、自分がリーダーとなってシステムの開発を行うことが目標です。お客さんとの交渉、システムの仕様作成など、仕事の幅を広げていきたいです。



日々エンジニアとして活躍中

学生生活を謳歌し、チャレンジしていこう

静大は、チャレンジできる環境が整っています。私自身も浜松キャンパスで開催されたアイデアソン&ハッカソンへの参加や香港への実習など、とても充実した学生生活を送ることができました。静大生の皆さんには、この4年間で自分の好きなことややりたいことに存分に時間を使い、その中で新たな自分や新たな可能性を見つけてほしいと思っています。



学生時代の友人とグランピングへ(左端が本人)

静岡大学学生 フォトコンテスト2021作品介绍

静岡大学の魅力発見！

2021年に学生目線の静岡大学の魅力を広く発信することを目的として、Instagramを利用したフォトコンテストを開催しました。
受賞作品と広報学生委員会のメンバーが選んだ写真を紹介します！
広報学生委員会/田口実花子、千頭和良彰、新井璃子、大野ほのか、武田菜奈、藤井七夢、丸山桜

グランプリ



推し

教育学部
山下夕月さん

静岡キャンパスのシンボル定年坂に2人の楽しさや仲の良さが伝わってくる本作品が、見事グランプリに！

受賞 COMMENT

私の日常はどこを切り取ってもDOE(Department of English 英語教育専修)ばかり。4年目の付き合いですが飽きる気配はありません。この2人は日常の一部で自慢の真面目推しカップル。いつもみんなに幸せを分けてってくれています。ありがとう。ちなみにこの日の現場はカメラマン4名・ポージング指導1名と定年坂を封鎖してしまうスタッフの多さでした…すみません。
私の日常を彩るDOEは、今後もずっと繋がっていたいと思える存在。残りの大学生活も濃いものにしていきます！

紅葉狩

人文社会科学研究科
渡邉珠美さん

静岡キャンパスの猫・ハクに癒される1枚！

受賞 COMMENT

守衛所にいるハクの写真は学部1年の時から撮り続けています。秋の葉に囲まれて寝そべっているのがとても気持ちよさそうでした。受賞のお礼におやつを持って行ってあげなくてはなりません…。正門を通る際はぜひハクを見つけてみてください！



広報
委員長
賞



学長賞

受賞 COMMENT

この作品は、浜松キャンパスで一番高い総合棟の屋上からの景色です。僕が所属している天文サークルでは、よくここに集まって星空を観測しています。ここからの浜松の夜景は1番のお気に入り。見ることが出来る人は多くはないため、この景色を共有したい！広めたい！という思いで撮影しました。

屋上から

工学部
川上昇輝さん

浜松キャンパスを新しい角度でみることが出来た、闇夜と光のコントラストが素敵な作品。

紅葉と運動会の季節

教育学部
中村めぐさん

学生の皆さんの笑顔が素敵です！

受賞 COMMENT

静岡キャンパスのグラウンドで部活をしている時、綺麗な銀杏並木を見ると秋がきたことを毎年実感します。写真を見てくださる人にもグラウンドの銀杏の綺麗さが伝わると思って撮りました。いつもは真剣に部活をしている部員たちの楽しそうな顔にも注目です。



広報
学生委員会
賞

Pick UP!

広報学生委員会のメンバーが選んだ写真をピックアップしてご紹介！

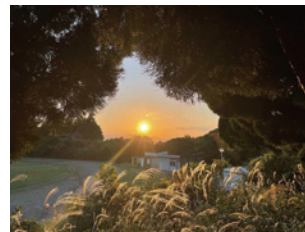
「Informatics Department can look green and fresh too」

てんとう虫の目線から見たキャンパス！メカニク的な印象のある浜キャンの、意外な一面を見ることができました。シロツメクサ越しの浜松キャンパスは爽やかな雰囲気があります。



「振り返ると共通教育L棟」

静大生にしか見れない静岡キャンパスの風景です。L棟にはパソコン室があったり教職の授業に使われる教室があったりと、人によってはとことんお世話になる場所。2F・3Fにはラウンジのようなスペースがあり、日当たりもよくほっこりとするスペースでお気に入り。



「日の入り」

静岡キャンパスの陸上競技場で撮影された写真。秋を感じさせる素敵な1枚。標高が高い静大からは綺麗な空が見えるスポットがたくさんあります！



「浜キャンと朝焼け」

4年生になると、1コマの授業が減り、徹夜明けでしか朝焼けを見ることがなくなりました(笑)。日の入りとは違い、だんだんと明るくなってくる朝焼けを見ると目が覚めるように感じます。



「卒業」

静岡キャンパスのシンボルの時計塔と留学生との構図が素晴らしいです。袴姿に卒業証書が似合い！私もこの方のように真っ直ぐな眼差しで歩んでいきたいと思います。

井青静大学生
フォトコンテスト
2021



今年もフォトコンテスト開催予定です！
春や夏の写真も是非撮影して下さいね。
開催予告はInstagramをチェック！
@shizuoka_university

私たちの
研究室
Our laboratory

情報学部情報社会学科 秋元研究室

研究分野 都市デザイン、地理情報科学

私たちは、都市地理学や地理情報科学を基盤として、空間的視点から地域を分析し、望ましい都市環境やまちづくりの在り方について研究しています。

To研究室では
マカカしてカキを
進めます！



研究室では、地理情報システム (Geographical Information System: GIS) を活用しています。PCソフトウェアで地理空間統計データを可視化・解析することができ、人口分布や施設配置の問題なども扱えます。専門性だけでなく社会的スキルを養いながら調査・分析に臨み、それらを手掛かりにSEやインフラ関連企業への就職を志す学生が多く在籍しています。



杉山岳弘研究室(情報社会学科)にWeb関係の助言をいただきながら作成

Web向けの まち歩きマップを作りました

学生はGISで地図を作成することが好きで、3D表示やレイアウトなどを楽しんでいます。研究室でWebGISなどのアプリケーションを作成することもあります。



研究室HPで
公開中！

スマートシティを意識した都市・地域デザインが目標です！

? 都市デザインや地理情報科学の分野で、 秋元研のメンバーは 何を研究しているの

地理学は自然環境を基盤として、人間・社会との関わりまで扱う複合領域的な研究分野です。高度情報化により地理情報科学も急速に発展し、2022年4月から「地理総合」(必修)が高等教育で展開されます。研究室でも文理工の融合を理想としています。自然地理学の岩崎研究室(名誉教授)とゼミを共催したり、地理情報や空間解析を扱う研究室と交流したりしています。

バイクにセンサを搭載して
取得した軌跡データの活用
を目指しています。

木谷研究室(情報科学科)でGPS関連
技術の基礎などを教えていただき、
地理的研究への応用を考えています。



秋元菜摘(講師)

土木情報学研究所・防災総合センター兼任
コンパクトシティからスマートシティへの統合について研究

弁天島エリアの再開発
について調査しています。

ソフトウェア解析だけでなく、フィー
ルドワークで地域の魅力を探ること
が楽しみで、地道な研究生生活の気晴
らしにもなります。

現地調査が
好きな学生も多く、
自転車やバイク、バスなど
お気に入りの手段で
出かけています！

浜名湖の観光や防災に
興味を持っています。

地域の地理・歴史的な魅力を取り入
れたアプリケーションを作成して、地
域振興に貢献したいと考えていま
す。シミュレーションの得意な李研
究室(行動情報学科)の院生が研究や
教育に関わってくることがあり、プ
ログラミングや就職のアドバイスを
もらっています。

天竜地区の地理的特徴や
防災について
GIS分析しています。

データや空間解析により地域
の課題を発見することが興味
深く、身近な地域も新たな
視点で捉えられます。

浜名湖のエコツーリズム
に関心があります。

哲学を研究している吉田研究
室(情報社会学科)とテクノフェスタ展
示を共催するなど、イベントを通した
活動も充実しています。



